

# 施策評価・進捗管理調書(内部評価結果)

## ■ 第2次総合計画

基本方針(政策)	7	支え合い、助け合う福祉のまちづくりを推進します
計画項目(施策)	20	共に生き、支え合い、助け合う地域福祉の推進
<施策分野>		<地域福祉>

所管部局	所管部局長の氏名
企画総務部	木村 嘉充
市民部	石嶋 政博
健康長寿福祉部	岸本 繁之

### 1. 総合計画で掲げている目的など

#### PLAN

施策の目的	支え合い、助け合う地域社会づくりを実現するため、市民一人ひとりの地域に対する思いや福祉に対する意識を高めるとともに、地域活動、福祉活動への市民の積極的な参画と活動のネットワークを広げていきます。
施策方針(めざす姿)	高齢者や障害者、ひとり親家庭など、生活に困難を抱えた人が、さまざまなサービスや支援を利用して住み慣れた地域で安心して快適に暮らせるよう、福祉ボランティアの育成や活動支援をはじめ、地域福祉団体のネットワークづくりを進めるとともに、結婚を希望される方についても地域全体で応援し、支え合い、助け合える地域社会の実現をめざします。

#### 【参考】施策に関連する個別計画

計画名称	計画概要	策定年月	計画期間	備考
第2次京丹後市ひとり親家庭等自立促進計画	市内のひとり親家庭等の生活実態、諸問題等を把握し、経済的支援のみならず、就労支援や育児支援、相談事業の充実等により、ひとり親家庭等の生活の安定と向上を図ることを目的に、本計画を策定	平成26年4月	平成26年度～平成30年度	
第2次京丹後市地域福祉計画	市民誰もが地域の中で安心して暮らせるように地域ぐるみの取組や市の支援策についてまとめており、市民、福祉事業者、行政などが協働により推進していく上での指針となるもの(本市における地域福祉を推進するための施策展開の基本となるもの)。	平成24年3月	平成24年度～平成28年度	

### 2. 行政の主な取組と構成事務事業一覧

#### DO

#### CHECK

行政の主な取組み ↓	事務事業名称・事業内容(実績)	担当課	予算額(単位:千円)		事務事業の概要				評価結果	
			H26決算額	H27予算額(一般財源)	根拠法令	財政負担	単独事業	事業種別	施策貢献度	今後の方向性
① 福祉の大切さの啓発推進 ○ 学校教育や社会教育等さまざまな場での福祉教育や地域の防災活動、さらには地域福祉懇談会の場などを通じて、市民相互の支え合い、助け合う意識の醸成を図ります。										
1	京丹後市社会福祉大会開催事業	生活福祉課	113	-	なし	単費	○	サービス	A	現状維持
第3回社会福祉大会(表彰式典、記念講演会)を開催(記念講演会参加者:160人)										
② 地域福祉の担い手、ボランティアの育成・支援 ○ 福祉ボランティア活動に興味をもつ人が気軽に参加できる機会をつくり、市民自身が支え合い、助け合う機運を醸成します。 ○ 福祉ボランティア活動や団体、NPOへの活動支援や人材育成を推進します。 ○ 市民のさまざまな生活課題を解決するため、民生委員・児童委員の活動と連携するとともに、その活動支援を推進します。										
2	民生児童委員活動事業【再掲】【取組④にも該当】	生活福祉課	21,509	21,744(9,381)	なし	府・一部	含む	サービス	S	現状維持
民生児童委員の活動に対して補助金を交付(委員数199人)										
福祉ボランティア活動へ参加できる機会づくりや福祉ボランティア活動や団体、NPOへの活動支援・人材育成は、社会福祉協議会を中心に取り組んでいる。										
③ 生活困窮者への自立支援 ○ 生活保護制度の適正な運用を行うとともに、生活保護世帯の自立支援に努めます。										
3	くらしの資金貸付事業	生活福祉課	1,700	5,201(2,669)	市規定	単費	○	サービス	S	現状維持
一時的に生活が不安定な低所得者世帯に対し緊急に必要な資金の貸付を実施(申請19件、貸付18件)										
4	離職者住宅支援給付事業	生活福祉課	20	915	国規定	国府全額	-	サービス	A	終了・廃止
就労意欲のある離職者のうち、住宅を喪失している者等に対し住宅手当を支給する事務経費(支給なし)										
5	くらしとしごと寄り添い支援事業	生活福祉課	39,375	24,566(7,680)	なし	国府全額	-	サービス	S	現状維持
『くらし』と『しごと』の寄り添い支援センターを設置し、相談者の問題解決に向けた支援活動を実施										
6	生活保護運営管理事業	生活福祉課	38,120	12,098(5,322)	国規定	国・一部	含む	サービス	S	現状維持
生活保護受給者の自立を支援する生活相談、就労支援、健康相談等を実施										
7	生活保護費支給事業	生活福祉課	790,076	791,325(197,831)	義務	国・一部	-	-	S	現状維持
生活困窮世帯に対して、生活保護法による扶助費を支給(398世帯、601人)										
8	社会的孤立者等居場所づくり事業【地方創生先行型交付金事業】【明許繰越】	生活福祉課	-	25,212(10,212)	新規事業(平成26年度事業の全部を繰り越して実施する事業)					
旧保育所施設を活用し、社会的孤立者等の居場所づくり、就労支援及び地域・都市農村交流の拠点を設置										
④ 支え合いの人の輪を広げる事業の推進 ○ 社会福祉協議会をはじめ、民生委員児童委員、自治会、老人クラブ、ボランティア、NPO等が連携し、地域で支え合い助け合う地域ケア体制づくりとその事業展開を支援します。										
9	民生児童委員活動事業【取組②にも該当】	生活福祉課	21,509	21,744(9,381)	なし	府・一部	含む	サービス	S	現状維持
民生児童委員活動の活動に対して補助金を交付(委員数199人)										
10	社会福祉協議会運営費補助金	生活福祉課	71,924	70,050(70,050)	なし	単費	○	サービス	A	現状維持
社会福祉協議会の職員人件費等に対する補助金交付(本所及び5支所、補助対象職員18人)										
11	健康と福祉のまちづくり審議会事業	生活福祉課	215	151(151)	市規定	単費	○	内部管理	A	現状維持
審議会の開催(2回、第6期高齢者保健福祉計画、第4期障害者福祉計画策定審議)										
12	災害時要援護者支援事業	生活福祉課	232	388(388)	国規定	単費	○	サービス	S	現状維持
災害時要援護者支援システムによる台帳管理										

13	支え合いの地域づくり推進事業	生活福祉課	45	50 (50)	市規定	単費	○	内部管理	A	現状維持
「支え合いの地域づくり推進委員会(8回開催)」において検討した提言を市長に提出										
14	絆ネット構築事業	生活福祉課	-	2,597 (866)	新規事業					
地域での日常的な見守り・支援活動のためのネットワークづくり、企業・店舗等の参画による見守り活動を推進										
⑤ 未婚化、晩婚化の解消に向けた婚活支援										
○ 結婚希望者を対象とした相談体制を構築し、行政と地域全体で婚活を支援します。										
15	地域少子化対策事業	企画政策課	783	3,368 (374)	国規定	国・一部	含む	サービス	S	拡大
婚活&子育て情報紙の印刷(10,000部)、社協が実施する婚活支援事業に対し補助金を交付										
16	小児化対策推進事業【地方創生先行型交付金事業】【明許繰越】	企画政策課	-	500 (300)	新規事業(平成26年度事業の全部を繰り越して実施する事業)					
市内で婚活支援事業を実施する団体を対象に補助金を交付										
上記の「行政の主な取組」への位置付けが困難な事業										
17	網野健康福祉センター管理事業	網野市民局	5,373	4,806 (4,616)	市規定	単費	○	維持管理	S	現状維持
網野健康福祉センターの維持管理										
18	峰山総合福祉センター管理事業	生活福祉課	13,185	12,905 (12,270)	市規定	単費	○	維持管理	S	現状維持
福祉事務所としての峰山総合福祉センターの維持管理(利用状況:512件、16,895人)										
19	戦没者追悼事業	生活福祉課	891	946 (920)	なし	府・一部	含む	サービス	B	現状維持
市戦没者追悼式を挙行(参列遺族数251人)、全国戦没者追悼式(9人)・京都府戦没者追悼式(60人)へ参列										
20	災害見舞金等事業	生活福祉課	610	400 (400)	市規定	単費	○	サービス	A	現状維持
火災、床上浸水により被災された市民に対し災害見舞金(7件)、災害弔慰金(1件)を支給										
21	臨時福祉給付金給付事業	生活福祉課	158,088	90,909 -	義務	国府全額	-	-	A	現状維持
臨時福祉給付金を支給(支給決定人数:11,118人)										
22	社会福祉総務一般経費	生活福祉課	12,211	11,010 (10,850)	なし	国・一部	含む	サービス	S	現状維持
福祉事務所の円滑な運営を行うための事務経費(事務用品、封筒等購入経費、公用車管理経費等)										
23	行旅死亡人等取扱事務	生活福祉課	331	195 -	義務	府・一部	-	-	B	現状維持
行旅病人及行旅死亡人取扱法、墓地、埋葬等に関する法律に基づき、遺体(4体)の葬祭等を執行										
24	地域福祉計画策定事業	生活福祉課	-	827 (827)	事業実施が必要な年度に実施					
第2次京丹後市地域福祉計画(H24~28年度)の更新に向けた市民アンケート調査の実施経費										
計			1,154,801	1,080,163 (335,157)						

【参考】総合計画で掲げている市民等の役割

市民等の役割	① 福祉ボランティア活動へ積極的に参加します。 ② 自治会、各種団体等は福祉ボランティアへの参加と育成を進めます。 ③ 結婚希望者を地域全体で支援します。
--------	---

【参考】個別計画で掲げている目標値

指標名	説明・備考	単位	計画作成時		実績値(現状)		目標値	
			年度	年度	年度	年度		
第2次京丹後市地域福祉計画								
地域福祉懇談会の開催回数		-	各地区27回/年	H22	25	H26	各地区38回/年	H28
地域福祉懇談会への参加者数	支え合いの人づくり	人/年	465	H22	296	H26	700	H28
ボランティアに関する相談件数		件	215	H22	75	H26	250	H28
ボランティア登録者数		人	3,212	H22	3,074	H26	3,500	H28
避難行動要支援者登録者数		人	2,161	H22	1,829	H26	2,650	H28
民生委員・児童委員への年間相談・支援件数		件	7,797	H22	4,457	H26	8,780	H28
相談延件数(権利擁護に関すること)	安心・安全な仕組みづくり	件/年	87	H22	34	H26	165	H28
相談延件数(うち成年後見に関すること)		件/年	43	H22	29	H26	115	H28
小地域いきいきネットワーク事業実施地区		地区	101	H22	129	H26	110	H28
うち世代間交流実施地区		地区	67	H22	89	H26	80	H28
地域ふれあいサロン活動の実施地区		地区	83	H22	95	H26	90	H28
地域ふれあいサロン活動の実施回数	ふれあいの場所づくり	回	822	H22	939	H26	860	H28
地域ふれあいサロン活動の延参加人数		人	15,095	H22	17,709	H26	15,500	H28
健康づくり推進員研修会の開催回数		回/年	8	H22	7	H26	12	H28
外出支援サービス利用登録者数		人	643	H22	535	H26	800	H28
人権セミナー開催回数	自立を支える環境づくり	回/年	7	H22	5	H26	10	H28
人権学習会開催回数		回/年	8	H22	20	H26	10	H28
人権学習会参加者数		人	1,133	H22	1,908	H26	1,600	H28

3. 総合計画で掲げている施策方針(めざす姿)とめざす目標値

施策方針(めざす姿)	高齢者や障害者、ひとり親家庭など、生活に困難を抱えた人が、さまざまなサービスや支援を利用して住み慣れた地域で安心して快適に暮らせるよう、福祉ボランティアの育成や活動支援をはじめ、地域福祉団体のネットワークづくりを進めるとともに、結婚を希望される方についても地域全体で応援し、支え合い、助け合える地域社会の実現をめざします。							
めざす目標値	指標名	単位	計画作成時		実績値(現状)		目標値	
			年度		年度		年度	
	地域を担う福祉ボランティアの人数	人	2,924	H26	3,074	H26	3,500	H36
	地域ふれあいサロン延べ参加人数	人	18,191	H26	17,709	H26	21,800	H36
	地域いきいきネットワーク活動事業実施地区数	地区	131	H26	129	H26	160	H36

4. 施策方針(めざす姿)に対する現状評価

**CHECK**

施策方針(めざす姿)に対する主な成果(アウトカム)	施策方針(めざす姿)の達成に向けての課題
<p>○経済的に困窮している世帯に対して、健康で文化的な最低限度の生活を保障するための経済的支援(生活保護費の支給)を行うことで、その世帯の自立を支援することができた(398世帯、601人)。</p> <p>○寄り添い支援総合サポートセンターにおいて自己解決が困難な方に対し、ワンストップで相談受付・支援を行い、問題解決につなげることができた(支援終了者数:90人、就労者数:38人)。</p> <p>○京丹後市社会福祉協議会に補助金を交付し、同協議会による婚活支援センターの設立及び運営を支援することで、本市における婚活支援体制を整えることができた。</p>	<p>○一人暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯が増加し、また、地域での人と人とのつながりが希薄化する中、災害時だけでなく普段から地域における日常的な見守り活動や支援活動をするためのネットワークづくりが必要である。</p> <p>○問題や悩みを一人で抱え込み、問題が深刻化することがないよう、社会的孤立や生活困窮状態からの脱却、自殺予防などに向けた取組の一層の充実を図る必要がある。</p> <p>○市の少子化に対応するため、未婚化・晩婚化の解消に向けた取組を市民全体で進めていく必要がある。</p>

5. 施策の進捗状況の評価[施策方針(めざす姿)の達成に向け、施策がどの程度進捗しているか]

**CHECK**

進捗状況区分	評価	理由
◎ 予定以上に進んでいる	○	<p>目指す目標値については、計画作成時の数値を下回っているものがあるが、寄り添い支援総合サポートセンターでの取組を始めとし、社会福祉協議会や民生児童委員協議会などと連携しながら、様々な取組を進めており、高齢者や障害者、ひとり親家庭など、生活に困難を抱えた人が住み慣れた地域で安心して快適に暮らせるよう着実に事業が展開できていると考える。</p> <p>加えて、京丹後市社会福祉協議会への支援による婚活支援体制の整備など、少子化対策の取組についても充実を図ることができた。</p>
○ 予定どおり進んでいる		
▲ 少し遅れている		
× 大幅に遅れている		

6. 今後の施策展開と歳出抑制の考え方(平成28~30年度までの3か年の主な取組)

**ACT**

区分	No.	具体的内容	説明(特定財源名、補完・代替措置等)
施策展開の考え方	1	寄り添い支援センターや平成27年度開所予定の社会的居場所・就労の場づくりの拠点を中心としながら、社会福祉協議会や民生児童委員協議会などと連携し、相談・支援体制の充実に努めていく。	
	2	絆ネットコーディネーターを中心に、普段から地域における日常的な見守り活動や支援活動をするためのネットワークづくりを進めていく。	
	3	未婚化、晩婚化の解消に向けた取組の推進(京丹後市社会福祉協議会の婚活支援センターの活用に向けた周知、府や関係団体との連携による取組の充実)	
歳出抑制(歳入確保)の考え方	1	ジェネリック医薬品の普及促進による生活保護費(医療扶助費)の抑制を図る。	

予算科目	03民生費	01社会福祉費	01社会福祉総務費	19京丹後市社会福祉大会開催事業	
細事業名	01 京丹後市社会福祉大会開催事業			決算書 P.140	
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	④ 支えあい、助けあいの地域福祉の推進	
<b>決算額</b>	①	最終予算額	②	不用額 (②-①)	執行率 (参考) 当初予算額
113千円		116千円		3千円	97.4 %
116千円					116千円
目的	福祉関係者が一堂に会し、社会福祉大会を開催することで、地域福祉の発展と市民一人ひとりが地域で安心して暮らせる福祉社会の形成を図る。				
主要な事務・事業及び成果の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>○報償費 60千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・報奨金（講師謝金）</li> </ul> </li> <li>○需用費 49千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・消耗品費（コピー用紙等） 41千円</li> <li>・印刷製本費（封筒印刷） 8千円</li> </ul> </li> <li>○役務費 4千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・通信運搬費（はがき代）</li> </ul> </li> </ul> <p>【第3回京丹後市社会福祉大会】  開催日 平成26年10月18日（土）  場 所 京丹後市峰山総合福祉センター コミュニティホール  内 容 （第1部）表彰式典 （第2部）記念講演会 参加者：160名  記念演題  演題 廃校舎「森の巣箱」”未来への挑戦”  ～床鍋地区住民主体による集落活性化～  講師 高知県津野町 森の巣箱運営委員会 代表 大崎 登 氏</p>				
主な財源					
評価・課題等	市民、社会福祉協議会、社会福祉施設、民生児童委員、ボランティア及び行政等の福祉関係者が一堂に会し、それぞれの役割を再認識するとともに、相互の連携を深めることができた。				
事業所管課	健康長寿福祉部／生活福祉課				

予算科目	03民生費	01社会福祉費	01社会福祉総務費	03くらしの資金貸付事業															
細事業名	01 くらしの資金貸付事業			決算書 P.132															
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	④ 支えあい、助けあいの地域福祉の推進															
<b>決算額</b>	①	最終予算額	②	不用額 (②-①)	執行率 (参考) 当初予算額														
1,700千円		1,701千円		1千円	99.9 %														
6,201千円					6,201千円														
目的	一時的に生活が不安定な低所得者世帯に対し、くらしのための緊急に必要なとする資金の貸付を行い、自立更生及び生活意欲の促進を図る。																		
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>一時的に生活が不安定な低所得者世帯に対し、貸付審査会の審査を経て、資金の貸付を行った。</p> <p>○くらしの資金貸付金 1,500千円</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>【実績】</th> <th>平成23年度</th> <th>平成24年度</th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>申請件数</td> <td>52件</td> <td>59件</td> <td>44件</td> <td>19件</td> </tr> <tr> <td>貸付件数</td> <td>39件</td> <td>56件</td> <td>38件</td> <td>18件</td> </tr> </tbody> </table> <p>○くらしの資金貸付金管理台帳システム保守委託料 130千円</p> <p>○消耗品費（ファイル等） 4千円</p> <p>○印刷製本費（納付書等） 66千円</p>				【実績】	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	申請件数	52件	59件	44件	19件	貸付件数	39件	56件	38件	18件
【実績】	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度															
申請件数	52件	59件	44件	19件															
貸付件数	39件	56件	38件	18件															
主な財源	諸収入	くらしの資金貸付金元金収入		1,500千円															
評価・課題等	○一時的に生活が不安定な低所得者世帯に対し、緊急的な貸付支援を行うことで、世帯の自立更生及び生活意欲の助長促進を図ることができた。 ○貸付支援だけでなく、就労支援など、より一層関係部署及び関係機関と連携を図り、世帯の自立に向けた生活支援をより効果的に進めていく必要がある。																		
事業所管課	健康長寿福祉部／生活福祉課																		

予算科目	03民生費	01社会福祉費	01社会福祉総務費	20離職者住宅支援給付事業	
細事業名	01 離職者住宅支援給付事業			決算書	P.140
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	④ 支えあい、助けあいの地域福祉の推進	
<b>決算額</b>	①	最終予算額	②	不用額	(②-①)
<b>20千円</b>		<b>20千円</b>		<b>0千円</b>	
				執行率	(参考)当初予算額
				<b>100.0%</b>	<b>1,213千円</b>
目的	就労能力及び常用就職の意欲のある離職者で、住宅を喪失している者又は喪失するおそれのある者に対し住宅支援給付を行うことで、住宅を確保し生活の再建を支援する。				
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>○離職者住宅支援給付 申請件数：0件 ハローワーク及び社会福祉協議会等の関係機関と連携しながら制度周知の広報等を行った。</p> <p>○消耗品費（事務用品） 20千円</p> <p>※平成27年度からくらしとしごと寄り添い支援事業の住宅確保給付金へ移行。</p>				
主な財源	府補	緊急雇用対策基金事業費補助金（10/10）			20千円
評価・課題等	生活困窮者自立支援法施行に伴い、平成27年4月からくらしとしごと寄り添い支援事業の住居確保給付金へ移行となった。移行後も引き続き必要な方を支援できるよう、制度の周知をしていく必要がある。				
事業所管課	健康長寿福祉部／生活福祉課				

予算科目	03民生費	01社会福祉費	01社会福祉総務費	23くらしとしごと寄り添い支援事業																											
細事業名	01 くらしとしごと寄り添い支援事業			決算書	P.140																										
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	④ 支えあい、助けあいの地域福祉の推進																											
<b>決算額</b>	①	最終予算額	②	不用額	(②-①)																										
<b>39,375千円</b>		<b>39,453千円</b>		<b>78千円</b>																											
				執行率	(参考)当初予算額																										
				<b>99.8%</b>	<b>39,568千円</b>																										
目的	寄り添い支援総合サポートセンターの機能を活用し、相談を幅広く受け付け、自己解決が困難な方に対して、関係機関との連携した支援により、問題の解決を図る。																														
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>相談体制の充実によるワンストップ型の相談で、制度やサービスへの的確なつながりや困難ケースへの伴走型支援を行った。就労意欲や生活・就労能力等の低い方たちの生活自立・社会的自立・経済的自立に向けて、国のモデル事業を活用して、能力向上のためのセミナーや研修、就労体験事業、生活保護世帯対象の学習支援等を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・共済費（臨時職員6人） 1,873千円</li> <li>・賃金（臨時職員9人） 13,350千円</li> <li>・旅費（研修及び会議旅費） 1,724千円</li> <li>・需用費（事務用品費、コピー代、光熱水費等） 2,060千円</li> <li>・役務費（フリーダイヤルを含む電話料金等） 1,205千円</li> <li>・委託料（各種セミナー、就労訓練コーディネート、ホームページ管理） 14,356千円</li> <li>・使用料及び賃借料（緊急一時宿泊用居室借上、自動車借上等） 1,085千円</li> <li>・備品購入費（パソコン及び相談室プライバシーシステム購入費等） 594千円</li> <li>・負担金、補助及び交付金（研修負担金） 10千円</li> <li>・償還金利子及び割引料（過年度国庫支出金返還金） 3,118千円</li> </ul> <p>＜活動状況＞</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th rowspan="2">新規相談者数</th> <th colspan="2">支援対象者数</th> <th rowspan="2">支援終了者数</th> <th rowspan="2">就労者数</th> </tr> <tr> <th></th> <th>前年度からの引継</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>85人</td> <td>108人</td> <td>59人</td> <td>90人</td> <td>38人</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>108人</td> <td>95人</td> <td>31人</td> <td>36人</td> <td>40人</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>118人</td> <td>234人</td> <td>132人</td> <td>203人</td> <td>58人</td> </tr> </tbody> </table> <p>＜セミナー等の状況＞ 仕事力アップ講座…参加希望11人、受講修了9人（就労者2人、次の訓練へ7人） 農業体験セミナー…説明会8人、総体験者11人・修了証交付7人（継続就農者4人） 介護初任者研修…受講者8人、資格取得者7人（就労者1人、次の訓練へ2人）</p>					年度	新規相談者数	支援対象者数		支援終了者数	就労者数		前年度からの引継	H26	85人	108人	59人	90人	38人	H25	108人	95人	31人	36人	40人	H24	118人	234人	132人	203人	58人
年度	新規相談者数	支援対象者数		支援終了者数	就労者数																										
			前年度からの引継																												
H26	85人	108人	59人	90人	38人																										
H25	108人	95人	31人	36人	40人																										
H24	118人	234人	132人	203人	58人																										
主な財源	府補	緊急雇用対策基金事業費補助金（10/10）			35,405千円																										
	使用料	公有財産使用料（峰山総合福祉センター付属建物 光熱水費負担分）			396千円																										
評価・課題等	○センターの機能を活用した幅広い対応と、「くらしといのちの総合相談会」の定期開催などにより、問題を抱える相談者を掘り起こすことができ、多くの支援に結びついた。 ○各種セミナーによって参加者の能力や意欲が向上し、資格取得や就労につながった。 ○農業セミナー事業を実施する中で、地域資源を活用した都市農村交流（大阪市西成区、京都府南部）も実現できた。																														
事業所管課	健康長寿福祉部／生活福祉課																														

予算科目	03民生費	03生活保護費	01生活保護総務費	02生活保護運営管理事業		
細事業名	01 生活保護運営管理事業			決算書	P.176	
総合計画	基本方針 Ⅲ 健やか安心都市		計画項目	④ 支えあい、助けあいの地域福祉の推進		
<b>決算額</b>	①	最終予算額	②	不用額	(②-①)	執行率
<b>38,120千円</b>		38,370千円		250千円		99.3%
						(参考)当初予算額 14,189千円

**目的** 生活保護の実施機関として、生活保護法に基づく事務を円滑に行い、生活保護費支給事業を適正に運営する。

**主要な事務・事業及び成果の概要**

生活保護受給者の自立支援を目的に、よりきめ細かな相談を行うための面接相談員の設置、自立支援プログラムに基づく就労支援や健康管理支援を行ったほか、手持金の少ない生活保護申請者に対し、一時的な生活資金の貸付を行った。

- ・就労支援員賃金（1人 週5日31時間勤務） 1,305千円
- ・健康管理支援員賃金（1人 週4日28時間勤務） 1,297千円
- ・面接相談員賃金（1人 週5日31時間勤務） 1,362千円
- ・臨時職員任用に伴う共済費（社会保険料・雇用保険料） 624千円
- ・生活保護申請者への一時支援資金貸付金（29件） 815千円
- ・生活保護システム基準改定対応等改修経費 6,480千円
- ・生活保護システム保守経費 594千円
- ・医療扶助、介護扶助適正実施経費 846千円

（レセプト点検委託料、レセプト管理システム保守委託料、通信運搬費等）

- ・負担金、補助金の交付額確定に伴う過年度国庫支出金返還金 22,889千円
- ・その他の経費（生活保護嘱託医報酬、旅費、需用費ほか） 1,908千円

	被保護世帯数	被保護人員	保護率	面接相談件数	申請件数	開始件数	却下・取下げ	廃止件数
H22	351世帯	542人	9.2%	236件	102件	80件	22件	46件
H23	371世帯	561人	9.7%	182件	64件	50件	14件	29件
H24	394世帯	588人	10.3%	224件	69件	55件	14件	36件
H25	390世帯	579人	10.3%	164件	56件	44件	12件	43件
H26	398世帯	601人	10.8%	159件	57件	48件	9件	41件

※保護率=被保護人員/京丹後市人口、単位は1/1,000の%で表示（各年度3月末現在）

**主な財源**

国補	生活保護費補助金（10/10・1/2）	2,584千円
府補	緊急雇用対策基金事業費補助金（10/10）	4,985千円
諸収入	一時支援資金貸付金元金収入	815千円

**評価・課題等**

○生活保護法に基づく事務を適正に行い、円滑な生活保護支給事業の運営ができた。  
 ○今後も、生活保護受給者それぞれの状況に応じた自立助長を進めるとともに、レセプト管理システムの活用等により、支給額の大きい医療扶助費の適正化に努める必要がある。

事業所管課

健康長寿福祉部/生活福祉課

予算科目	03民生費	03生活保護費	02生活保護扶助費	01生活保護費支給事業		
細事業名	01 生活保護費支給事業			決算書	P.176	
総合計画	基本方針 Ⅲ 健やか安心都市		計画項目	④ 支えあい、助けあいの地域福祉の推進		
<b>決算額</b>	①	最終予算額	②	不用額	(②-①)	執行率
<b>790,076千円</b>		790,106千円		30千円		99.9%
						(参考)当初予算額 817,985千円

**目的** 生活保護法に基づき、経済的に困窮している世帯に対して経済的援助を行うことにより、健康で文化的な最低限度の生活を保障するとともに、その世帯の自立を支援する。

**主要な事務・事業及び成果の概要**

生活保護受給世帯に対し、生活保護法による保護の基準に基づいて算定した扶助費を支給した。また、経済的給付にとどまらず、生活保護受給者それぞれの状況に応じた自立に向け、各関係機関と連携し支援を行った。  
 平成26年度は平成25年度と比較すると、受給世帯は8世帯・22人の増となり、生活扶助費・医療扶助費の増により、支給額は32,715千円の増加となった。

【生活保護世帯の状況】（各年度とも3月末の数値）（単位：世帯・人）

	峰山町		大宮町		網野町		丹後町		弥栄町		久美浜町		合計	
	世帯数	人数	世帯数	人数	世帯数	人数	世帯数	人数	世帯数	人数	世帯数	人数	世帯数	人数
H22	90	131	55	85	98	160	31	40	27	45	50	81	351	542
H23	97	138	57	84	107	167	35	46	30	48	45	78	371	561
H24	104	156	61	86	113	167	36	50	32	51	48	78	394	588
H25	103	152	66	98	109	167	35	48	29	44	48	70	390	579
H26	106	156	65	101	116	176	37	52	32	53	42	63	398	601

【生活保護費の支給状況】（単位：千円）

	生活扶助費	住宅扶助費	教育扶助費	介護扶助費	医療扶助費	生業扶助費	施設事務費	葬祭扶助費等	合計
H22	201,478	71,113	5,072	14,137	418,096	4,416	4,678	0	718,990
H23	204,754	74,533	5,622	20,265	399,370	4,001	3,884	616	713,045
H24	210,914	81,946	4,633	22,633	385,415	3,615	3,621	247	713,024
H25	210,540	85,783	6,185	18,684	429,369	3,290	3,292	218	757,361
H26	217,596	83,299	6,906	17,619	456,516	3,873	3,009	1,258	790,076

**主な財源**

国負	生活保護費負担金（3/4）	576,610千円
府負	生活保護費負担金（府費負担となる扶助費支給額の1/4）	73千円
諸収入	生活保護費返還金	9,617千円
諸収入	生活保護費徴収金	2,182千円

**評価・課題等**

○生活保護費の支給を適正に行い、健康で文化的な最低限度の生活を保障するとともに、自立を助長することができた。  
 ○生活保護受給者に対し、引き続き適正な保護を実施するとともに、自立を促進する必要がある。

事業所管課

健康長寿福祉部/生活福祉課

予算科目	03民生費	01社会福祉費	01社会福祉総務費	06民生委員・児童委員活動事業
細事業名	01 民生児童委員活動事業			決算書 P.134
総合計画	基本方針 Ⅲ 健やか安心都市		計画項目	④ 支えあい、助けあいの地域福祉の推進
<b>決算額</b>	①	最終予算額	②	不用額 (②-①)
<b>21,509千円</b>		21,550千円		41千円
			執行率	(参考)当初予算額
			99.8%	21,550千円

**目的** 民生児童委員活動を支援するとともに、活動に対して補助金を交付し、民生児童委員活動の充実を図る。

**主要な事務・事業及び成果の概要**

- 職員旅費（府民児協会議、先進地視察職員随行旅費等） 192千円
- 燃料費（研修会等バス燃料代） 61千円
- 委託料（各種視察研修バス運転委託料） 109千円
- 使用料及び賃借料 299千円
  - 自動車借上料（全員研修会バス借上料） 295千円
  - 有料道路通行料 4千円
- 負担金、補助及び交付金
  - 各町単位民生児童委員協議会活動費補助金 20,848千円
 

峰山町	4,169千円
大宮町	3,263千円
網野町	4,687千円
丹後町	2,746千円
弥栄町	2,016千円
久美浜町	3,967千円

\*各町単位民生児童委員協議会委員数 (単位：人)

峰山町	大宮町	網野町	丹後町	弥栄町	久美浜町	計
40	31	45	26	19	38	199

**主な財源**

府補	民生委員・児童委員活動費補助金	11,577千円
府補	民生児童委員協議会会長活動費補助金	72千円
府補	民生児童委員協議会地域福祉活動促進費補助金	711千円

**評価・課題等**

○活動に対する補助金を交付することで、民生児童委員活動の充実がさらに図られ、地域福祉が推進された。  
 ○民生児童委員に求められる知識は非常に幅広く、また、制度改正が頻繁に行われる中、委員の資質向上を図るため、今後も適宜、研修会の実施や情報提供、委員同士の意見交換の場の提供を行っていく必要がある。

事業所管課 健康長寿福祉部／生活福祉課

予算科目	03民生費	01社会福祉費	01社会福祉総務費	09社会福祉協議会活動助成事業
細事業名	01 社会福祉協議会運営費補助金			決算書 P.136
総合計画	基本方針 Ⅲ 健やか安心都市		計画項目	④ 支えあい、助けあいの地域福祉の推進
<b>決算額</b>	①	最終予算額	②	不用額 (②-①)
<b>71,924千円</b>		71,924千円		0千円
			執行率	(参考)当初予算額
			100.0%	71,924千円

**目的** 社会福祉協議会の本所及び5支所の事務員人件費等の補助を行うことで、円滑な協議会運営を支援し、社会福祉活動の充実を図る。

**主要な事務・事業及び成果の概要**

- 社会福祉協議会運営費補助金 71,924千円
- ※社会福祉協議会の補助対象職員：18人

	補助対象職員数	補助金
H18	27人	96,054千円
H19	26人	92,116千円
H20	19人	73,740千円
H21	19人	73,740千円
H22	19人	73,740千円
H23	19人	73,740千円
H24	18人	71,956千円
H25	18人	71,924千円
H26	18人	71,924千円

市が策定した「地域福祉計画」と深く関連し、社会福祉協議会の目的である「地域福祉の推進」を福祉関係機関や団体、地域住民等と連携しながら積極的に取り組みを進めている。

**主な財源**

**評価・課題等**

○地域福祉のまちづくりの推進、充実、発展のために京丹後市社会福祉協議会の人件費を補助することで、社会福祉協議会の社会福祉活動の充実と円滑な協議会運営に寄与することができた。  
 ○補助金等に関する基本方針に基づき、補助対象経費、補助率等を明確化する必要がある。

事業所管課 健康長寿福祉部／生活福祉課

予算科目	03民生費	01社会福祉費	01社会福祉総務費	12健康と福祉のまちづくり審議会事業
細事業名	01 健康と福祉のまちづくり審議会事業			決算書 P.136
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	④ 支えあい、助けあいの地域福祉の推進
<b>決算額</b>	①	最終予算額	②	不用額 (②-①)
	215千円	282千円	67千円	76.2%
				(参考)当初予算額 282千円
目的	審議会で市長の諮問に応じた各福祉分野の調査、研究及び審議等を行い、市民の健康づくりと福祉の増進を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>○審議内容：（仮称）京丹後市生涯現役社会推進条例案について 第6期京丹後市高齢者保健福祉計画の策定について 第4期京丹後市障害福祉計画の策定について</p> <p>審議会委員：15人 委員任期：平成26年4月30日から平成27年6月4日まで 審議会開催：2回 部会開催：高齢者部会6回・障害者福祉部会5回</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>委員報酬（4,000円×支払対象延べ47人） 188千円</li> <li>費用弁償 23千円</li> <li>需用費 4千円</li> </ul>			
主な財源				
評価・課題等	<p>○（仮称）生涯現役社会推進条例策定に向け、条例案について議論を行うことができた。</p> <p>○高齢者や障害者を取り巻く現状と課題について審議し、計画を策定することができた。</p>			
事業所管課	健康長寿福祉部／生活福祉課			

予算科目	03民生費	01社会福祉費	01社会福祉総務費	16災害時要援護者支援事業
細事業名	01 災害時要援護者支援事業			決算書 P.138
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	④ 支えあい、助けあいの地域福祉の推進
<b>決算額</b>	①	最終予算額	②	不用額 (②-①)
	232千円	268千円	36千円	86.5%
				(参考)当初予算額 268千円
目的	災害時の避難支援プランに基づき、避難行動要支援者台帳の継続的な管理を行うため、関係機関との情報共有を図り、災害に備えた地域の協力体制づくりを推進する。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>○需用費 39千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・消耗品費</li> </ul> </li> <li>○通信運搬費 87千円</li> <li>○委託料 106千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時要援護者支援システム保守委託料</li> </ul> </li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>災害が発生する可能性がある時又は発生した場合、自力では避難が困難な在宅の高齢者や障害者の方などを、地域の方々や消防署などが協力し、助け合いながらスムーズな避難行動を行うことを目的として、避難行動要支援者登録台帳を整備している。</p> <p>この台帳は、毎年3月1日を基準日として、区長、民生児童委員の協力により見直しを行っている。</p> <p>※要援護者台帳登録者数：1,829人（平成27年3月1日現在）</p> </div> <p>【台帳共有先】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自治区</li> <li>・民生児童委員</li> <li>・市の関係部署 長寿福祉課、障害者福祉課、健康推進課、総務課、市民局、消防署</li> <li>・京丹後市社会福祉協議会</li> <li>・避難支援者</li> </ul>			
主な財源	繰入金	ふるさと応援基金繰入金	87千円	
評価・課題等	<p>○要支援者台帳を定期更新し整備することにより、災害時における要援護者の避難誘導等の体制を整えることができた。</p> <p>○年1回の定期更新を継続し地域住民の意識の向上を図るとともに、地域の防災組織、市の関係部署、関係機関及び関係団体との連携を強め、台帳を使った避難訓練の実施など、災害時の体制整備を強化する必要がある。</p>			
事業所管課	健康長寿福祉部／生活福祉課			

予算科目	03民生費	01社会福祉費	01社会福祉総務費	18支え合いの地域づくり推進事業
細事業名	01 支え合いの地域づくり推進事業			決算書 P.140
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	④ 支えあい、助けあいの地域福祉の推進
<b>決算額</b>	①	最終予算額	②	不用額 (②-①)
<b>45千円</b>		<b>50千円</b>		<b>5千円</b>
			<b>90.0%</b>	(参考)当初予算額 <b>50千円</b>
目的	「支え合いの地域づくり推進委員会」において、支え合い、助け合えるよう具体的な施策を検討し、施策や事業の実現を図り、「京丹後市地域福祉計画」を推進する。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>○支え合いの地域づくり推進事業 45千円 推進委員謝礼 推進委員会：8回開催 推進委員：9人 委員任期：平成26年4月1日から平成27年3月31日まで</p> <p>平成27年2月16日、検討結果を提言としてまとめ、市長に提出した。 *下記のテーマについて現状と課題を把握し、その対応策について提言 (提言内容) 地域の見守り活動の推進について 地域住民による見守りや気づきは、地域社会におけるつながりの基礎であり、社会的孤立から生じるさまざまな問題への対応に不可欠。 ・相談できる専門的な仕組みや拠点が必要 ・活動者の資質向上や活動の充実のための研修の場が必要 ・個人情報保護に配慮しながら情報の提供が必要 ・見守り支え合う機運を高めるためには、地域の行事などに住民全員で取り組むことが必要 ・共助の輪を広げるきっかけとなる自主防災組織の更なる拡充が必要</p>			
主な財源				
評価・課題等	提言された内容の実施・実現に向け、社会福祉協議会や関係行政部署等に対して調整や働きかけを行い、地域福祉の向上に取り組むことができた。			
事業所管課	健康長寿福祉部／生活福祉課			

予算科目	02総務費	01総務管理費	07企画費	05定住・交流促進事業
細事業名	07 地域少子化対策事業			決算書 P.92
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	① 定住の促進
<b>決算額</b>	①	最終予算額	②	不用額 (②-①)
<b>783千円</b>		<b>989千円</b>		<b>206千円</b>
			<b>79.1%</b>	(参考)当初予算額 <b>0千円</b>
目的	京丹後市社会福祉協議会による婚活支援センターの設置及び運営を支援するとともに、結婚・妊娠・出産・育児までの切れ目ない支援施策の情報誌を作成・配布する。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>京丹後市社会福祉協議会において、婚活支援センターを設置し、ホームページの開設や婚活ファシリテーターの養成等に取り組み、本市は補助金を交付し活動を支援した。 また、本市でも、結婚・妊娠・出産・育児までの切れ目ない支援施策を紹介した情報誌を作成し、婚姻届提出者や市内婚活支援団体等に配布した。</p> <p>○需用費 151千円 ・印刷製本費 151千円 「婚活&amp;子育て情報紙」(10,000部) 子育て家庭、婚姻届提出者、Uターン・Iターン者、市内の挙式・披露宴会場、市内婚活支援団体等に配布</p> <p>○補助金 632千円 ・婚活サポート事業補助金 632千円 【京丹後市社会福祉協議会 婚活支援事業概要】 ・婚活支援センター「出会いは京丹後」の設置 ・婚活ファシリテーターの募集、登録(平成26年度末:登録数28人) ・婚活ファシリテーター養成講座の開催(2回) ・婚活サポート企業の募集、登録(平成26年度末:登録数12社) ・ホームページの開設 ・婚活参加希望者の登録、メールマガジンによる情報発信 ・専属職員の配置</p>			
主な財源	府補	地域少子化対策強化交付金(10/10)	783千円	
評価・課題等	○京丹後市社会福祉協議会に補助金を交付し、同協議会による婚活支援センターの設置及び運営を支援することで、本市における婚活支援体制を整えることができた。今後、同センターを活用してもらうため引き続き周知を図るとともに、市や府、関係団体と連携しながら取組を充実させる必要がある。 ○結婚・妊娠・出産・育児までの切れ目ない支援施策を紹介した情報誌の作成・配布により、本市の婚活支援・子育て支援の取組を周知することができた。			
事業所管課	企画総務部／企画政策課			

予算科目	03民生費	01社会福祉費	01社会福祉総務費	14網野健康福祉センター-管理事業
細事業名	01 網野健康福祉センター-管理事業			決算書 P.138
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	④ 支えあい、助けあいの地域福祉の推進
<b>決算額</b>	①	最終予算額	②	不用額 (②-①)
<b>5,373千円</b>		<b>5,387千円</b>		<b>14千円</b>
				執行率 (参考)当初予算額
				<b>99.7%</b>
				4,956千円
目的	住民の健康づくりとまちづくりの推進を図るため、住民の窓口となる網野健康福祉センターを適切に維持管理する。			
主要な 事業及び 成果の 概要	<p>行政推進の拠点となる庁舎の各種保守点検、行政事務執行上必要な消耗品費、燃料費、光熱水費等の経費を支出した。</p> <p>○センター維持管理経費 5,373千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消耗品費（トイレトーパー、血圧計記録用紙ほか） 49千円</li> <li>・光熱水費（電気、上下水道） 2,409千円</li> <li>・修繕料（空調機修理、エレベーター部品交換ほか） 1,120千円</li> <li>・通信運搬費（網野市民局電話代） 134千円</li> <li>・浄化槽法定検査料（厨房棟） 5千円</li> <li>・施設清掃委託料（センター内清掃） 248千円</li> <li>・設備維持管理及び保守点検業務委託料 1,289千円 （自家用電気工作物保安管理、消防設備ほか）</li> <li>・デマンド監視業務委託料 54千円</li> <li>・火災保険料（センター棟、厨房棟、車庫） 35千円</li> <li>・その他経費（警備システム点検、清掃用具借上） 30千円</li> </ul> <p>＜施設の主な事業内容＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域包括支援センター分室（介護に関する相談、支援、予防事業）</li> <li>・指定通所介護事業所（要介護者のデイサービス）</li> <li>・地域栄養支援センター（自炊困難者への配食サービス）</li> </ul>			
主な 財源	使用料 諸収入	公有財産使用料 公衆電話代		178千円 3千円
評価・ 課題等	<p>○施設の適正な維持管理に努め、住民の安全・安心のまちづくりを推進する拠点施設として円滑な運営を行った。</p> <p>○本センターは、今後、経年劣化からエレベーターや空調機など機器の修繕費が必要になってくるため、計画的な維持管理をする必要がある。</p>			
事業所管課	市民部／網野市民局			

予算科目	03民生費	01社会福祉費	01社会福祉総務費	13峰山総合福祉センター-管理事業																		
細事業名	01 峰山総合福祉センター-管理事業			決算書 P.136																		
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	④ 支えあい、助けあいの地域福祉の推進																		
<b>決算額</b>	①	最終予算額	②	不用額 (②-①)																		
<b>13,185千円</b>		<b>13,297千円</b>		<b>112千円</b>																		
				執行率 (参考)当初予算額																		
				<b>99.1%</b>																		
				13,426千円																		
目的	福祉事務所としての施設の維持管理のほか、設備機能の充実を図り、市民に会議・イベント等で幅広く活用してもらうことで、市民の健康づくりと福祉の充実を図る。																					
主要な 事業及び 成果の 概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・燃料費（空調用燃料等） 1,418千円</li> <li>・施設修繕料（空調冷温水ポンプ、コミュニティホール設備ほか） 1,081千円</li> <li>・光熱水費（電気使用料、上下水道使用料） 4,737千円</li> <li>・日直代行業務委託料 1,487千円</li> <li>・エレベーター保守点検委託料 680千円</li> <li>・施設清掃業務委託料 318千円</li> <li>・移動観覧席保守点検業務委託料 292千円</li> <li>・空調設備保守点検業務委託料 227千円</li> <li>・特殊建築物・設備定期報告業務委託料 205千円</li> <li>・その他施設管理費（機械警備、自動ドア点検、土地借上料ほか） 1,790千円</li> <li>・トイレ改修工事（洋式化、2か所） 950千円</li> </ul> <p>○峰山総合福祉センター利用実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>利用件数</th> <th>利用人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コミュニティホール</td> <td>313件</td> <td>16,880人</td> </tr> <tr> <td>研修室</td> <td>144件</td> <td>1,172人</td> </tr> <tr> <td>和室1</td> <td>60件</td> <td>580人</td> </tr> <tr> <td>和室2</td> <td>50件</td> <td>503人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>567件</td> <td>19,135人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※利用件数及び利用人数は、利用申請書により計上したものの。</p>					利用件数	利用人数	コミュニティホール	313件	16,880人	研修室	144件	1,172人	和室1	60件	580人	和室2	50件	503人	合計	567件	19,135人
	利用件数	利用人数																				
コミュニティホール	313件	16,880人																				
研修室	144件	1,172人																				
和室1	60件	580人																				
和室2	50件	503人																				
合計	567件	19,135人																				
主な 財源	使用料	峰山総合福祉センター-使用料		525千円																		
評価・ 課題等	<p>○適正な施設管理で福祉事務所の機能維持を図るとともに、福祉センターとして市民や各種団体に幅広く利用してもらい、市民の健康づくりと福祉の充実を図ることができた。</p> <p>○施設の老朽化が進んでおり、今後、修繕費等の増加が見込まれる。福祉避難所に指定されていることや、会議やイベント等での利用等、市民の方々の利用が多く、安全かつ快適に使用してもらうため、計画的な維持管理をする必要がある。</p>																					
事業所管課	健康長寿福祉部／生活福祉課																					

予算科目	03民生費	01社会福祉費	01社会福祉総務費	07援護事業
細事業名	01 戦没者追悼事業			決算書 P.134
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	④ 支えあい、助けあいの地域福祉の推進
<b>決算額</b>	①	最終予算額	②	不用額 (②-①)
<b>891千円</b>		<b>946千円</b>		<b>55千円</b>
			<b>94.1 %</b>	(参考) 当初予算額 946千円

目的	戦没者を追悼し、遺族を慰謝激励するとともに、平和を祈念する。
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>戦没者を追悼し、遺族を慰謝激励するとともに、平和を祈念するため京丹後市戦没者追悼式を実施した。また、全国戦没者追悼式、京都府戦没者追悼式へ参列した。</p> <p>○京丹後市戦没者追悼式 796千円  開催日：平成26年11月19日（水）  場 所：京都府丹後文化会館  参列遺族数：251人  ・報償費（司会者謝金） 10千円  ・需用費（祭壇ほか） 192千円  ・役務費（クリーニング代ほか） 32千円  ・委託料（送迎使用市バス運転委託料） 22千円  ・使用料及び賃借料（送迎バス借上料（13台）ほか） 540千円</p> <p>○全国戦没者追悼式  開催日：平成26年8月15日（金）  場 所：日本武道館（東京都）  参列遺族数：9人  ・旅費（市内各駅～京都駅までの参列者の旅費ほか） 85千円</p> <p>○京都府戦没者追悼式  開催日：平成26年10月3日（金）  場 所：国立京都国際会館（京都市）  参列遺族数：60人  ・旅費（随員職員旅費及び担当者会議旅費） 10千円</p>
主な財源	府補 援護事務交付金（10/10） 24千円
評価・課題等	○戦没者を追悼し、遺族を慰謝激励するとともに、世界の恒久平和を願うことができた。 ○戦没者遺族の方の高齢化に伴い、京丹後市戦没者追悼式の参列者が減少していることから、今後、会場や内容等について、検討していく必要がある。
事業所管課	健康長寿福祉部／生活福祉課

予算科目	03民生費	01社会福祉費	01社会福祉総務費	10災害見舞金等事業
細事業名	01 災害見舞金等事業			決算書 P.136
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	④ 支えあい、助けあいの地域福祉の推進
<b>決算額</b>	①	最終予算額	②	不用額 (②-①)
<b>610千円</b>		<b>700千円</b>		<b>90千円</b>
			<b>87.1 %</b>	(参考) 当初予算額 400千円

目的	被災された市民に対し見舞金・弔慰金を支給し、被災者の生活を支援する。																			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>京丹後市災害見舞金等支給要綱の規定に基づき、災害により被災された市民の方に対し、災害見舞金・災害弔慰金を支給した。</p> <p>○災害見舞金（火災によるもの）：7件 310千円</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">全焼</th> <th colspan="2">半焼</th> </tr> <tr> <th>件数</th> <th>千円</th> <th>件数</th> <th>千円</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>住家</td> <td>5</td> <td>250</td> <td>1</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>非住家</td> <td>1</td> <td>30</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <p>○災害弔慰金：1件（住家火災による死亡者） 300千円</p>		全焼		半焼		件数	千円	件数	千円	住家	5	250	1	30	非住家	1	30	0	0
	全焼		半焼																	
	件数	千円	件数	千円																
住家	5	250	1	30																
非住家	1	30	0	0																
主な財源																				
評価・課題等	京丹後市災害見舞金等支給要綱の規定に基づき、災害により被災者に災害見舞金・災害弔慰金を支給することで、急場をしのご資金として生活の支援をすることができた。																			
事業所管課	健康長寿福祉部／生活福祉課																			

予算科目	03民生費	01社会福祉費	01社会福祉総務費	25臨時福祉給付金給付事業	
細事業名	01 臨時福祉給付金給付事業			決算書	P.142
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	④ 支えあい、助けあいの地域福祉の推進	
<b>決算額</b>	①	最終予算額	②	不用額	(②-①)
<b>158,088千円</b>		<b>158,874千円</b>		<b>786千円</b>	
				執行率	(参考)当初予算額
				<b>99.5%</b>	<b>229,358千円</b>
目的	平成26年4月からの消費税率の引上げに際し、低所得者への負担の影響に鑑み、暫定的・臨時的な措置として臨時福祉給付金を支給する。				
主要な 業務・ 事業及 び成果 の概要	<p>○臨時福祉給付金事業費 146,865千円</p> <p>受付期間 平成26年7月1日～平成27年1月5日</p> <p>支給額 1人につき10,000円（加算対象者は1人につき5,000円加算）</p> <p>支給決定人数 11,118人（加算人数：7,137人）</p> <p>○臨時福祉給付金事務費 11,223千円</p> <p>時間外勤務手当 676千円</p> <p>社会保険料 119千円</p> <p>臨時職員賃金 699千円</p> <p>普通旅費 16千円</p> <p>消耗品費（申請書用紙、トナー代） 205千円</p> <p>印刷製本費（申請書類、封筒、チラシ） 965千円</p> <p>通信運搬費（郵送料） 2,387千円</p> <p>手数料（新聞折込手数料、振込料金取扱手数料） 1,002千円</p> <p>使用料（有料道路使用料、ソフトウェア使用料） 548千円</p> <p>委託料（事務補助業務人材派遣委託料） 2,512千円</p> <p>負担金（システム改修負担金） 2,094千円</p>				
主な財源	国補	臨時福祉給付金給付事業費補助金（10/10）			146,865千円
	国補	臨時福祉給付金給付事務費補助金（10/10）			11,223千円
評価・課題等	給付金制度に基づく事務を適正に行い、非課税世帯に対し給付金を支給することができた。				
事業所管課	健康長寿福祉部／生活福祉課				

予算科目	03民生費	01社会福祉費	01社会福祉総務費	50社会福祉総務一般経費	
細事業名	01 社会福祉総務一般経費			決算書	P.142
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	④ 支えあい、助けあいの地域福祉の推進	
<b>決算額</b>	①	最終予算額	②	不用額	(②-①)
<b>12,211千円</b>		<b>12,610千円</b>		<b>399千円</b>	
				執行率	(参考)当初予算額
				<b>96.8%</b>	<b>11,717千円</b>
目的	福祉事務所の円滑な運営を行うための事務経費のほか、ひとり親家庭等の自立や障害者の社会参加を促進するため、補助金を交付し、福祉の向上を図る。				
主要な 業務・ 事業及 び成果 の概要	<p>○福祉事務所共通物品購入経費（事務用品、封筒等） 3,812千円</p> <p>○福祉事務所公用車管理経費 5,981千円</p> <p>修繕料 2,505千円（公用車車検、定期点検、修理費等）</p> <p>燃料費 1,954千円</p> <p>役務費 733千円（自動車登録、自賠責保険料等）</p> <p>公課費 57千円（自動車重量税）</p> <p>備品購入費 732千円（公用車購入）</p> <p>○普通旅費 174千円</p> <p>○母子家庭奨学金申請書に関する通知書郵送料 44千円</p> <p>○印刷機リース料等 334千円</p> <p>○その他経費（近畿ブロック都市福祉事務所長連絡協議会負担金ほか） 17千円</p> <p>○ごみ処理手数料 58千円</p> <p>○社会福祉団体事業補助金 1,791千円</p> <p>母子寡婦福祉会活動補助金 500千円</p> <p>父子会活動補助金 1千円</p> <p>障害者団体への活動補助金 1,290千円</p>				
主な財源	国委	厚生労働統計調査事務委託金			3千円
	国補	生活保護費補助金（10/10）			141千円
	府補	援護事務交付金（10/10）			53千円
	諸収入	市有自動車損害共済金			1,286千円
評価・課題等	<p>○福祉事務所の円滑な事務運営に資することができた。</p> <p>○福祉事務所の運営経費等について、一層の経費節減に努めていく必要がある。</p> <p>○社会福祉団体へ補助金の交付を行うことにより、ひとり親家庭等の自立や障害者の社会参加の促進に寄与することができた。</p>				
事業所管課	健康長寿福祉部／生活福祉課				

予算科目	03民生費	01社会福祉費	01社会福祉総務費	02行旅死亡人等取扱事務
細事業名	01 行旅死亡人等取扱事務			決算書 P.132
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	④ 支えあい、助けあいの地域福祉の推進
<b>決算額</b>	①	最終予算額	②	不用額 (②-①)
	331千円	333千円	2千円	執行率 99.3%
				(参考) 当初予算額 195千円
目的	市内において、旅行中に病気になり救護者がいない方や死亡し引取者のいない方に対し、縁故者に代わって援助措置を行う。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>○行旅病人及行旅死亡人取扱法に基づくもの（生活福祉課分） 173千円  身元不明により引き取り手がない死亡人は、葬祭・埋葬する者がいないため、行旅病人及行旅死亡人取扱法により、市が取り扱うことが規定されている。  市内で発見された身元不明の遺体（3体）について、平成27年3月に火葬・葬祭を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・遺骨保管謝金 90千円</li> <li>・消耗品費（棺、骨箱等） 32千円</li> <li>・死体検案書作成手数料 39千円</li> <li>・火葬料 12千円</li> </ul> <p style="text-align: right;">158千円</p> <p>○墓地、埋葬等に関する法律に基づくもの（市民課分）  埋葬又は火葬を行う者がいない遺体について、墓地、埋葬等に関する法律により、市がこれを行うことが規定されている。  京丹後警察からの聞き取り及び調査を行った結果、死体の埋葬又は火葬を行う者が存在しないと判明した方1人について、平成26年11月に火葬・葬祭を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・遺骨保管謝金 30千円</li> <li>・消耗品費（棺、骨箱等） 62千円</li> <li>・死体検案書作成手数料 33千円</li> <li>・遺体搬送料 13千円</li> <li>・火葬料 15千円</li> <li>・遺体処置料 5千円</li> </ul>			
主な財源				
評価・課題等	○行旅病人及行旅死亡人取扱法、墓地、埋葬等に関する法律に基づき、葬祭等を執行できた。 ○遺骨を保管していただける寺院等を探すのが難しい状況にあるため、引き続き、寺院等の協力を得ながら滞りなく葬祭等を執行できるよう努める必要がある。			
事業所管課	市民部／市民課・健康長寿福祉部／生活福祉課			